

PreSonus

B R A N D E G U I D E

1995年にアメリカ・ルイジアナ州で設立した PreSonus Audio Electronics, Inc. は、ミュージシャン/レコーディング・エンジニア向けのアウトボード/オーディオ製品を提供。2006年にはウォルフガング氏を迎い入れドイツに PreSonus Software Ltd を設立し次世代のオーディオ・エンジンによるソフトウェア製品も提供するワールドクラスのブランド。





プリソナス社の創業者兼社長のジム・オドム氏は、ルイジアナ州立大学で電気工学を学んだエンジニアであり、ミュージシャン/プロデューサーでもある。アメリカレコード協会 (RIAA) のゴールドレコードを2回、およびプラチナレコード1回の認定経験を持ち、さらにアンペックス・ゴールデンリールアワードを2回受賞

ハード/ソフトウェアのすべてを自社で手掛け、耐久性に優れた実用性の高い製品を製造開発

1995年にミュージック・リッチな街と言われる米国ルイジアナ州バトンルーージュで設立したプリソナス・オーディオ・エレクトロニクス(以下:プリソナス)は、プロクオリティのオーディオ製品をハイ・コストパフォーマンスで提供するレコーディング機器メーカーです。

世界各国のプロオーディオ関係者やミュージシャン、コンシューマーから高い信頼を得ており、現在では米国での音楽製品小売レポート・サービス「MI SalesTrak」で、各カテゴリーの上位にランクインするブランドに成長しています。その理由のひとつには、同社でセールス、エンジニアリング、カスタマー・サービスの業務に従事するスタッフは、ミュージシャン/サウンド・エンジニアであったり、アメリカのギターアンプ・シミュレーター/モニター・スピーカー/アナログ・ミキサー/DAWなど名門ブランドで長年に渡る経験を有している人材ばかりであることが挙げられます。

プリソナスのデザイン・エンジニア・チームは、オーディオだけでなく軍用の表面実装技術においても長い実績があり、この分野で得られた知識は、耐久性に優れた実用性の高い製品作りに生かされており、プリソナス製品は業界でも最高水準の信頼性を誇っています。そんなスタッフの音楽制作への情熱の結晶とも言えるのがプリソナス製品なのです。

プリソナスでは、現在クラス A プリアンプ、32ビット・デジタル・ミキサー、64/32ビット・ソフトウェア、24ビット・オーディオ・インターフェース、モニタリング&コントローラーなどにカテゴライズされた約20種類を超える製品をリリースし、これらのハードウェアとソフトウェアのすべてを自社で製造開発している数少ないブランドなのです。この姿勢がワールドクラスのブランドに成り得た所以でもあります。

デジタル回路のアナログ・コントロールで特許を取得し時代を大きく先取り

数々の賞に輝いたプリソナスが初めて開発した製品「DCP-8」は、デジタル・コントロールの8chコンプレッサー/リミッター/ゲートで、デジタル回路のアナログ・コントロールにおける技術で特許を取得し、これを機に現在では同技術の特許を複数保有しています。

スタジオ・エンジニアを対象に設計されたDCP-8は、時代を大きく先取りした仕様を持ち、デジタル高品質でアナログ信号のコンプレッションを行ない、その設定の保存や呼び出しもでき、さらにDCP-8のアナログ・バージョンである「ACP8」や、チャンネル真空管コンプレッサー「BlueMax2」、デュアル・コンプレッサー/リミッター/ゲート「ACP22」を次々と製造開発してきました。そして現在に至るまでに、「音楽制作とプロダクションプロセスの向上を目的とする、革新的でプロフェッショナルかつハイ・コストパフォーマンス

の音楽制作業界向けツール」というプリソナス・ブランドの基本コンセプトに準じた製品を数多く開発し発売しています。

ドイツにソフトウェア部門を設立し自社で次世代のソフトウェアまでも提供

プリソナスは2006年に、スタインバークのソフトウェア開発で有名なヴォルフガング・クンドゥルス氏とVST規格の主要開発者であったマティアス・ユーヴァン氏により創立された、クリスタル・ラボ・ソフトウェア社を吸収合併し、ドイツのハンブルクにプリソナス・ソフトウェア社を設立。

プリソナスの創業者とソフトウェア開発チームの有する豊かな専門知識が統合されたことにより、オーディオ・ハードウェア製品ラインと完全統合する、音楽制作ソフトウェア・ソリューションの開発に着手し、現在では、次世代のオーディオ・エンジンによるコンプリート・ミュージック・クリエイション&プロダクション・ソフトウェア「Studio One」、

StudioLive用ライブ・レコーディング・ソフトウェア「Capture」とコントロール・ソフトウェア「VSL」を開発しています。



DAW業界で知らない人はいないと言われていた、スタインバーク Cubase/Nuendo や、アドビ Audition の主要開発者でもあったヴォルフガング・クンドゥルス氏は、プリソナスでもオーディオ・エンジン、サンプラー・インストールメント、Mac版の開発に貢献



ピュアでクリーン & 音楽的なプリアンプ・サウンドが得られる プリソナーズ独自の XMAX クラス A プリアンプ・テクノロジー

レコーディングのクオリティを決める重要な要素はプリアンプ・デザイン。プリソナーズでは、このコンセプトを反映した独自の XMAX クラス A マイクロフォン・プリアンプ・テクノロジーを有しています。オペアンプ回路ではノイズや色付けがあったり、ざらついた質感を付加してしまいます。XMAX プリアンプは、

トランジスター、レジスター、コンデンサーのみで構成されているため、透明度の高いサウンドが得られるのです。また XMAX プリアンプは、回路に最適な電圧が流れている状態が、常に保たれるというメリットがあり、例えば通常のオペアンプ回路で見られるクラス A/B 回路と比較すると、XMAX プリアンプ

の場合、クラス A 回路では電圧が切り替わる際に生じるクロスオーバー歪みがありません。XMAX プリアンプは、大きなヘッドルーム、最小のノイズ、広いダイナミックレンジと周波数特性、そして何よりも滑らかな高音域とリッチな低音域による妥協のない音楽性と透明度が得られるのです。



↑XMAXクラスAマイク・プリアンプの技術とプリソナーズブランドの魅力を教えてくれた、セールス・バイス・プレジデントのリック・ナクヴィ氏(写真左)とインターナショナルセールス・ディレクターのマーク・ウィリアムズ氏(写真右)

プリソナーズ製品に採用されている、XMAXテクノロジーとブランドの魅力について、設立当初からのメンバーで、現在セールス・バイス・プレジデントを務めるリック・ナクヴィ氏と、インターナショナルセールス・ディレクターのマーク・ウィリアムズ氏に直接インタビューした。

—— 製器開発の肝になっている独自の技術「XMAXクラスAマイク・プリアンプ」について教えてください。
リック：このマイク・プリアンプは、マイクの信号レベルをラインレベルへ増幅し、アナログからデジタルへコンバートするものです。一般的にマイクレベルからラインレベルへの増幅は、マイクレベルの電圧を400倍以上に増幅したものがプリアンプリフィケーションとなりますが、このプリアンプの段階がアナログからデジタルへコンバートする前において重要なステージなんです。ここで、最高の結果を得るためにはハイパフォーマンスタなプリアンプが必要不可欠なんです。例えば、一般的なオペアンプ回路を使用したプリアンプは、音が細くてノイズが多く、荒いサウンドの要因となります。その点、プリソナーズの多くの製品や、FireStudioファミリィに採用されているXMAXクラスAマイク・プリアンプは、「ハイボルテージ、ディスタリットデザイン、純A級回路」の3つの要素を特徴としているため、理想的

なサウンドを約束してくれるんです。中でもハイボルテージは特徴的で、一般的なオペアンプを使用したプリアンプ回路では10V、18V程度のパワーレールが使用されていますが、XMAXクラスAマイク・プリアンプでは30Vものパワーレールを使用しています。このハイボルテージ・パワーにより、余裕のあるヘッドルームが生まれるため、リッチな低音域と滑らかな高音域、そして奥行きのあるサウンドが得られるのです。
—— プリソナーズ製品の一番の魅力はどんなところにあるのでしょうか？
マーク：プリソナーズ製品の最大の特徴は、「ハードウェアとソフトウェアがパワフルに連動すること」です。プリソナーズのハードウェアには、先に説明があった通り、ほぼすべてのプリアンプ回路にXMAXテクノロジーを採用しています。また、オーディオインターフェイスには、信号の時間的なズレや揺らぎを抑えてくれる「ゼロラジッター」低減テクノロジーを採用しているというこだわりがあります。それと、我が社で開発したソフトウェアには、次世代のオーディオエンジンを採用しています。これらの融合により、プリソナーズのオーディオインターフェイスは、OSやバージョンによる互換性の問題に悩むことも、パソコンでの面倒な設定を行なう必要もなくなりません。

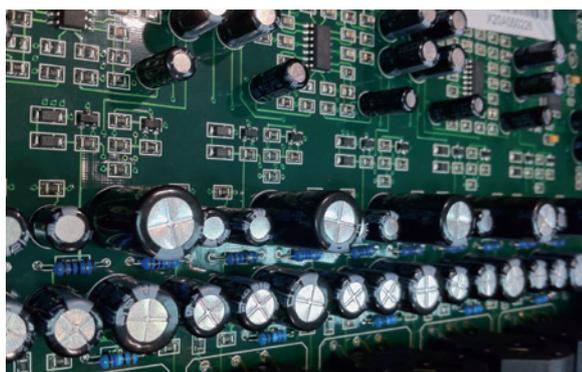


↑リック・ナクヴィ氏



↑マーク・ウィリアムズ氏

特に皆さんにお伝えしたいことは、「パソコンや音楽制作用のソフトウェアとの相性問題やトラブルに悩まされることなく、しかも高いクオリティで音楽を作ることだけに集中できる」ということです。これは、まさに「ハードウェアとソフトウェアがパワフルに連動する」という我が社ならではのコンセプトによるものです。このことが、プリソナーズ製品が「ハイコストパフォーマンス」との評価につながっている理由だと思います。



↑プリソナーズブランドのほとんどの製品に採用されている独自の技術「XMAXクラスAマイク・プリアンプ」



FireStudio
26 入出力レコーディング・システム
想定価格：65,000 円前後

FireStudio Project
10 入出力レコーディング・システム
想定価格：50,000 円前後

FireStudio Tube
16 入力 6 出力レコーディング・システム
想定価格：70,000 円前後



Central Station
モニター・コントロール・センター
想定価格：70,000 円前後

HP60
6 チャンネル・ヘッドフォン・ミキサー
想定価格：30,000 円前後

DigiMax D8
8 チャンネル・プリアンプ (48kHz ADAT 搭載)
想定価格：40,000 円前後



DigiMax FS
8 チャンネル・プリアンプ (96kHz ADAT 搭載)
想定価格：60,000 円前後

Eureka
ソリッド・ステート・チャンネル・ストリップ
想定価格：60,000 円前後

Studio Channel
12AX7 真空管チャンネル・ストリップ
想定価格：30,000 円前後



StudioLive 24.4.2
24 x 4 x 2 ライブ & レコーディング・ミキサー
想定価格：350,000 円前後



StudioLive 16.4.2
16 x 4 x 2 ライブ & レコーディング・ミキサー
想定価格：250,000 円前後



Studio One
ミュージック・クリエーション & プロダクション
想定価格：40,000 円前後



Capture
ライブ・レコーディング
StudioLive ファミリーに同梱



Monitor Station
モニター・コントロール・センター
想定価格：33,000 円前後



BlueTube DP
2 チャンネル 12AX7 真空管プリアンプ
想定価格：25,000 円前後



AudioBox USB
2 入出力 USB レコーディング・システム
想定価格：15,000 円前後



FireStudio Mobile
10 入力 6 出力レコーディング・システム
想定価格：30,000 円前後



HP4
4 チャンネル・ヘッドフォン・アンプ
想定価格：15,000 円前後



TubePRE
12AX7 真空管プリアンプ
想定価格：15,000 円前後



FaderPort
USB DAW コントローラー
想定価格：17,000 円前後



MSR
FireStudio 用リモート・コントローラー
想定価格：20,000 円前後

株式会社エムアイセブンジャパン

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-22-21 | www.mi7.co.jp

MI7[®]
Competence and Passion for the Media Industry.

© PreSonus Audio Electronics, Inc. および株式会社エムアイセブンジャパン。無断転載・複写を禁じます。PreSonus は米国およびその他の国における PreSonus Audio Electronics, Inc. の商標です。文中に記載されている商標はすべて各社が所有権を有します。製品の機能、仕様、価格、システム要件および販売状況に関しては予告なく変更されることがあります。

2010 年 11 月制作